

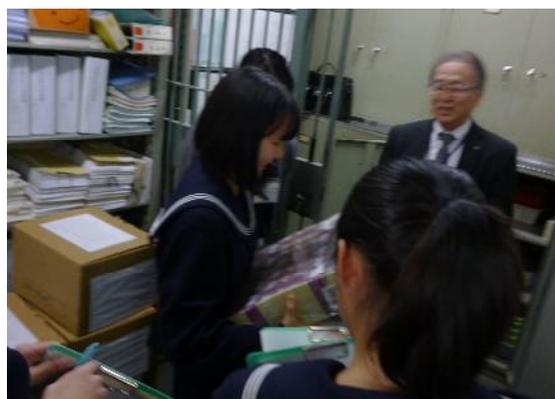
# 仙台市立富沢中学校・名取市立増田中学校 生徒の職場体験学習を実施しました

宮城第一信用金庫では、平成29年10月から11月にかけて仙台市立富沢中学校さん、名取市立増田中学校さんのご依頼により、当金庫の各支店に生徒さんをお招きし、職場体験学習とマネースクールを開催致しました。この企画は、両校の2年生における「社会体験学習」の一環として、警察、消防署、保育所、区役所、農園、流通業その他の民間企業等に生徒の受け入れを依頼し例年実施されているものです。当金庫としては、富沢中学校さんは今年で8年目、増田中学校さんは2年目の受け入れとなりました。



【 理事長との面談 】

信用金庫の概要や取り組み、貨幣の歴史などの金融に関する座学のあとは、職員との同行でポスティングローラー活動の体験、出納機の操作、札勘体験をしてもらいました。また、金庫室に入り1億円（1万円札1万枚、重さ約10kg）を持ち、その重さを実感して頂きました。富沢中学校さんにおいては3日間の日程のうち、青葉区



【 金庫室で1億円！ 】

の本店に1日来て頂き、当金庫の理事長と懇談をして頂きました。

生徒さんから、「地域社会に密着した業務の大切さを知りました」「貴重な体験ばかりでおもしろかった」「信用金庫の仕事の内容について初めて知り、働くことの大変さを学ぶことができました」と社会体験学習の感想を聞くことができました。

今回受講された生徒さんは明るく元気で、講話や体験学習を積極的に受けており、講師となった職員一同、やり応えを感じました。社会体験学習が、中学校のみなさんのお役に立てたならば役職員一同、とても嬉しく思います。生徒の皆さん大変お疲れさまでした。

なお、当金庫は、地域貢献活動の一環として、両中学校さんからご要望があれば、来年度も引き続き実施させていただく予定です。